

【生徒の実態】
 ・朝ごはんを毎日食べる生徒 92%
 ・好き嫌いがある生徒 65%
 ・肥満傾向のある生徒 12%
 ・給食残食率 3.9%
【保護者・地域の実態】
 ・朝食を欠食する人 30.1%
 ・塩分を控えるようにしている人 30.8%
 (令和6年度食育に関するアンケート)

学校教育目標
 ・みずから学び考えて行動する生徒
 ・思いやりのある豊かな心をもった生徒
 ・健康で明るく、勤労と責任を重んじる生徒

【第4次食育推進基本計画】
 ・朝食を欠食する子ども 0%
 ・生活習慣病予防のために普段から適正体重の維持や減塩に気を付けた食生活を実践する国民 75%以上
【東京都食育推進計画(令和3年度～7年度)】
 ・主食・主菜・副菜を組合せた食事を1日2食以上食べる人の割合 66.8→90%
【江戸川区の教育目標・基本方針】
 ・こころ豊かに たくましく 教育の江戸川

食育の視点
 ◇食事の重要性【重】
 ◇心身の健康【健】
 ◇食品を選択する能力【選】
 ◇感謝の心【心】
 ◇社会性【社】
 ◇食文化【文】

【食に関する指導の目標】
 (知識及び技能)
 ○食事の重要性、食事の喜び、食事の楽しさを理解する。
 ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂りかたを理解し、自ら管理していく能力を身につける。
 (思考力、判断力、表現力等)
 ○食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をはぐくむ。
 (学びに向かう力、人間性等)
 ○食生活のマナーや、食事を通じた好ましい人間関係形成能力を身につける。

幼稚園・保育園
 幼保連携型
 認定こども園
 ↓
 小学校

【各学年の食に関する指導の目標】
 第1学年
 ・自分の生活や将来の課題を見つけ、朝食を必ず摂るなど、望ましい食習慣を理解して、実践する力を身につける。
 第2学年
 ・食文化や食品の生産・流通について理解を深め、食事を通して豊かな心と望ましい人間関係を構築できる。
 第3学年
 ・食物の働きや栄養について理解し、献立・調理にも関心をもち、日常生活に生かしていくことができる。

江戸川区が目指す食育の3本柱の抜粋
 (平成30年策定)
 ①若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
 ③食の循環や環境を意識した食育の推進

食育推進組織(学校給食運営委員会)
 委員長:校長(副委員長:副校長)
 委員:栄養士、保健主任、養護教諭、食育リーダー
 ※必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医、学校薬剤師の参加

食に関する指導:
【教科等における食に関する指導】:関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
 社会・理科、技術・家庭、保健体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動
【給食の時間における食に関する指導】:
 ・食に関する指導・・・献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
 ・給食指導・・・準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
【個別的な相談指導】:肥満・やせ傾向、食物アレルギー・疾患、偏食、スポーツ

地場産物の活用:
 地場産物等の校内放送や指導カードを使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と関連を図る、その他

家庭・地域との連携:・献立表・給食だより月1回発行 ・学校給食試食会
 ・学校給食運営委員会 ・学校保健委員会
 ・地元の農家との連携(地産地消) ・行事食・郷土料理・食文化について等の資料を随時配布

食育推進の評価
 活動指標:食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
 成果指標:生徒の実態、保護者・地域の実態